

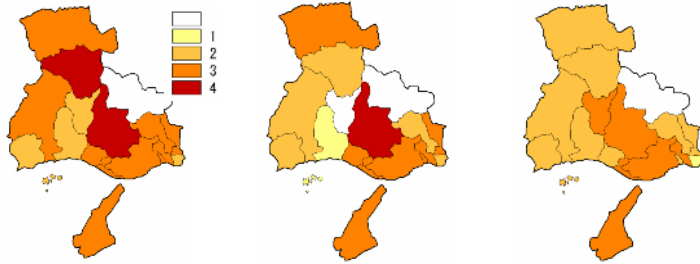
全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

ヘルパンギーナ

報告数は 3 週連続で減少しました。

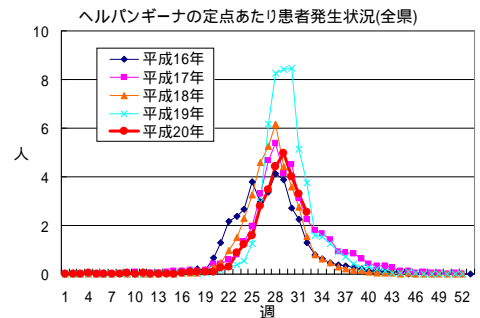
代表的な夏型の感染症であり、8 月下旬頃まで多い時期が続きます。



30 週 (7/21 ~ 7/27)

31 週 (7/28 ~ 8/3)

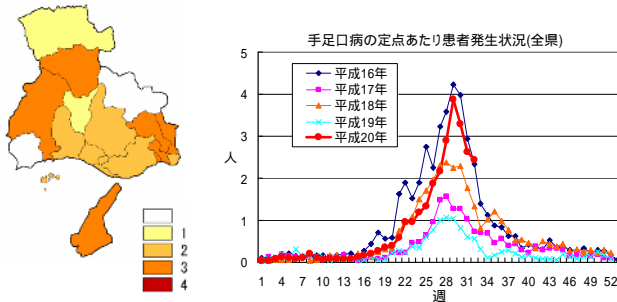
32 週 (8/4 ~ 8/10)



その他の感染症の概況

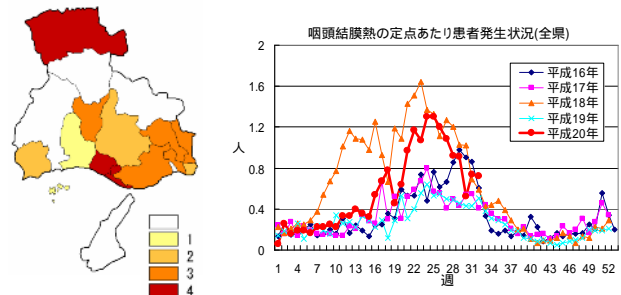
手足口病

3 週連続で報告患者数は減少しましたが、過去 5 年間のうちで、報告数が最も多い状況です。ヘルパンギーナ同様、代表的な夏型の感染症であり、もうしばらく注意が必要です。



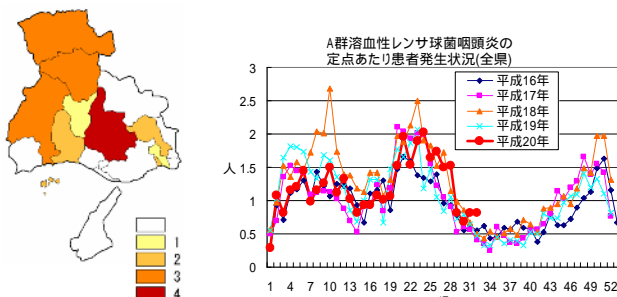
咽頭結膜熱

今週、報告数は減少しました。流行のピークは過ぎたと思われますが、もうしばらく注意が必要です。



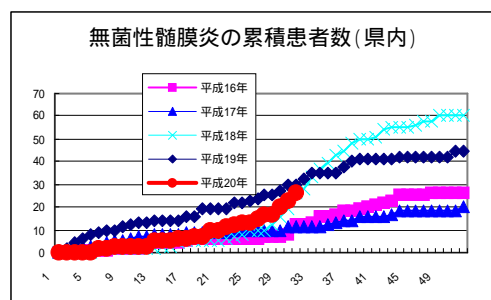
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告患者数は今週わずかに増加しました。流行期は過ぎましたが、保健所管内で例年よりも報告数が多くなっています。



無菌性髄膜炎

23 週 ~ 32 週の 10 週間で 19 人(今週 2 人)の報告がありました。年齢は 0 歳から 70 歳代まで幅広く分布して、0 歳が 8 人で最も多く、次いで 10 ~ 14 歳の 3 人となっています。病原体が検出されている 6 人の内訳は、水痘・帯状疱疹ウイルス 3 人、ムンプスウイルス 2 人、コクサッキー B5 型ウイルス 1 人となっています。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

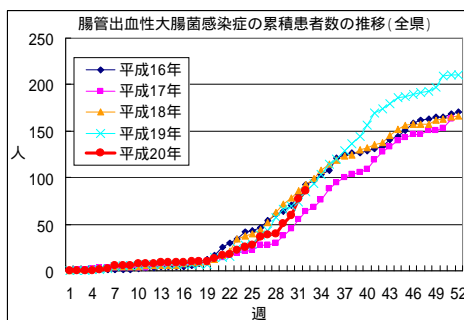
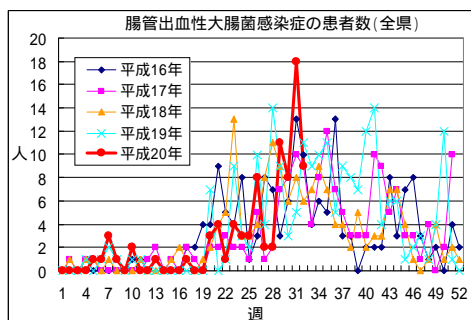
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	3.27	3.69	- 0.42	6位	突発性発しん	0.77	0.74	+ 0.03
2位	ヘルパンギーナ	2.56	3.28	- 0.72	7位	咽頭結膜熱	0.72	0.74	- 0.02
3位	手足口病	2.44	2.63	- 0.19	8位	水痘	0.69	0.74	- 0.05
4位	流行性角結膜炎	0.85	0.94	- 0.09	9位	流行性耳下腺炎	0.29	0.34	- 0.05
5位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.82	0.81	+ 0.01	10位	無菌性髄膜炎	0.18	0.27	- 0.09

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 24名（神戸市 11名、尼崎市 4名、姫路市 1名、西宮市 1名、伊丹保健所管内 2名、宝塚保健所管内 2名、明石保健所管内 2名、社保健所管内 1名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 9名（神戸市 2名；0157 VT2+, 0157 VT1+VT2+, 尼崎市 1名；0157 VT1+VT2+, 西宮市 1名；0157 VT2+, 宝塚保健所管内 1名；0157 VT2+, 社保健所管内 4名；0157 VT2+ 1名, 0157 VT 型不明 3名）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	アメーバ赤痢 2名（神戸市） 急性脳炎 1名（伊丹保健所管内；病原体不明） 麻しん 1名（神戸市 1名；1歳/検査診断/ワクチン接種歴無）
追加報告	結核 2名（明石保健所管内 1名；第 30 週、社保健所管内 1名；第 30 週） 腸管出血性大腸菌感染症 1名（芦屋保健所管内 1名；第 31 週/026 VT1+） 麻しん 3名（神戸市；第 29 週/17歳/臨床診断/ワクチン接種歴無、姫路市 2名；第 31 週/2歳/検査診断/ワクチン接種歴 1 回有（1歳時/MR ワクチン）、第 31 週/0歳/検査診断/ワクチン接種歴無）

腸管出血性大腸菌感染症

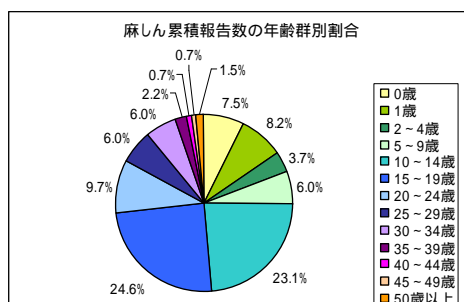
今週は9名の腸管出血性大腸菌感染症の報告がありました。第32週現在の累積報告数は86名で、阪神間や西播磨からの報告が多くなっています。生肉や生レバーを推定原因とする感染例が多く見られており、肉やレバーなどの食品はよく加熱する、生食は控える、箸を使い分けるなどの感染予防が大切です。腸管出血性大腸菌感染症や食中毒などの多い時期となっています。今後の動向に注意が必要です。



1～32週の累積患者数による

麻しん

第 32 週現在、兵庫県における麻しんの累積患者数は 134 名（今週 1 名）となっています。地域別には、神戸市からの報告数が半数以上を占め、その他阪神間からの報告が多くなっています。年齢群別では 15～19 歳 33 例（24.6%）、10～14 歳 31 例（23.1%）、20～24 歳 13 例（9.7%）と 10～20 代前半からの報告が半数以上を占めています。

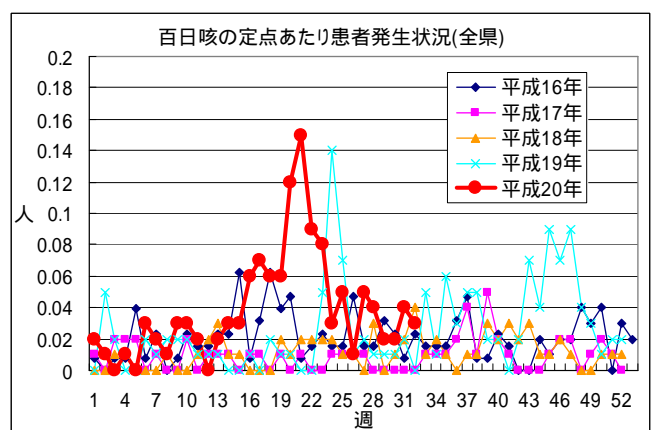
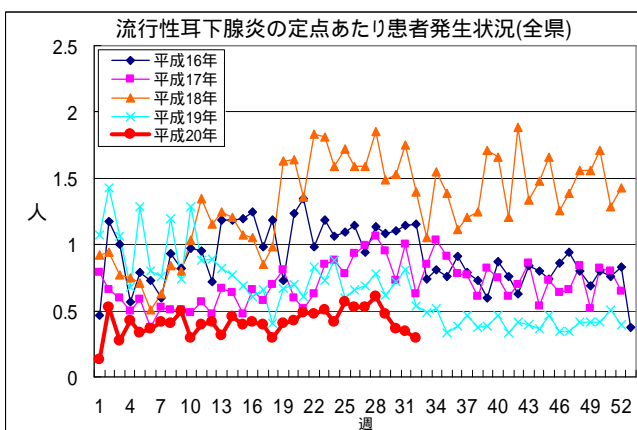
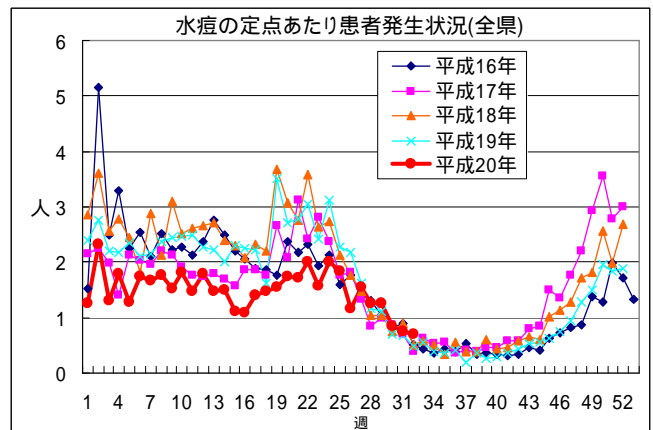
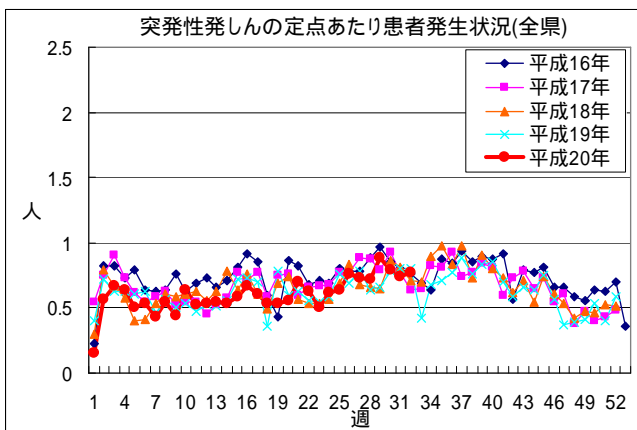
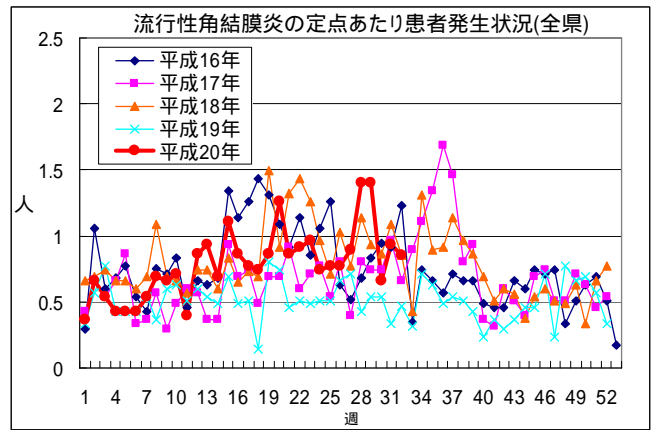
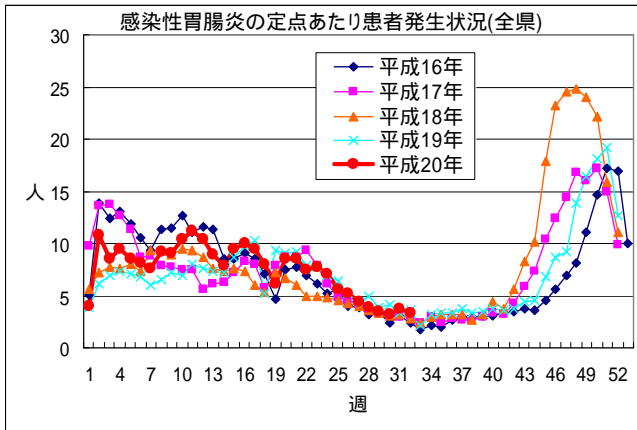


1～32週の累積患者数による

検査情報（兵庫県立健康環境科学研究所センター）

5月から6月にかけての検体のうち、咽頭結膜熱患者2名（4,10歳）からアデノウイルス3型、滲出性扁桃炎患者2名（2,3歳）からそれぞれ、アデノウイルス2型、アデノウイルス1型が検出されました。また、手足口病患者1名（4歳）からはコクサッキーウイルスA16型が検出されています。

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。